令和2年度 事 業 報 告

Ⅰ　概　要

パンデミック（世界的大流行）をもたらした新型コロナウィルス感染症は、あらゆる分野において歴史を変えるほどの影響を社会に与えました。

我が国でも、ライフスタイルや働き方まで変わるほど、社会全体が急激に変化する状況となり、昨年からの度重なる緊急事態宣言の発令による外出の自粛や移動の制限など、これまでに経験のない事態となり、当センターの事業も大きな影響を受けました。日々、報道される感染拡大のニュースに多くの会員が不安を募らせ、なかには感染への不安から就業を離れる会員も出ました。

また、コロナ禍により観光案内や学校関係の業務などが一時ストップし、大きな打撃を受けましたが、契約金額（労働者派遣事業を含む）は前年度の９０％程度の２５１，７１１千円となりました。

また、会員数は、入会者４８人に対し６１人が退会し５４３人となりました。これは、朝来市内の６０歳以上の人口１２，４１９人に対し約４．４％となり、この入会率は兵庫県下では上位となっています。

入会動機の多くが、会員の紹介やセンターの会誌「シルバーあさご」を見てとなっています。また、会員数に占める女性の割合は約４５％で、この比率も県下で上位となっており、就業だけでなく講習会、親睦事業への積極的な参加など、これまで以上に女性会員の活躍が増えたことを感じました。

あわせて、これまで懸案事項でもあった地域の経済団体との連携を図る観点から、商工会に加入し地域の商店との協力体制の醸成と会員の特典拡大のためにフレンドリーショップ制度を導入いたしました。

以下、令和２年度の事業実績について報告いたします。

Ⅱ　事業内容

１．公益目的事業

（１）安全就業と事故防止対策の強化

①　安全対策として取り組んだ、草刈機のロープ刈りの禁止、ヘルメットの着用、安全講習会の開催が功を奏し、事故防止に繋がりました。

②　剪定作業の受注先で危険個所の確認を進め、安全が確保できないと判断した先は受注を見合わせるなど、会員の安全を最優先にする取り組みを行いました。

③　剪定、草刈りなど、危険が伴う就業に就く全会員に安全教育の受講を義務づけ、受講者には受講済のステッカーを配布することにより安全意識の徹底を図りました。

④　熱中症予防や危険回避のため、長時間就業にならないよう一日の就業時

間を制限するなど安全と健康を守る取り組みを進めました。

これまでの安全就業対策が評価され、全国シルバー人材センター事業協会の安全優良賞を受賞出来たことで、これまで以上に安全就業意識が高まりました。

⑤　広範囲の草刈りを安全で効率的に進められるよう、大型自走式草刈り機を導入しました。

⑥　会員の安全意識高揚のため、安全に関する「標語」「川柳」「つぶやき」の各部門の作品を募集し、会員の投票により優秀作品を決定しました。

（２）会員拡大の取り組みと新たな就業機会の創出

①　会員数の増強と維持

ア）朝来市の協力により会員募集チラシを広く市内に配布しました。

イ）大型ショピングセンターの空きスペースを活用し、入会説明会を開催したところ２０名近い入会に繋がりました。

ウ）市役所、企業等の協力により、定年退職者に対しセンター紹介の機会を設け、将来的な会員拡大に繋がるよう努めました。

エ）朝来市介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）に携わる会員養成のための講習会は一般市民６名を含む１０名が参加し、うち１名が入会して総合事業の担い手として活躍しています。

オ）プラチナ会員制度が年数の経過と共に認知され、プラチナ会員に移行する会員が増え退会の抑制に繋がりました。

また、夫婦入会については、入会初年度の会費の免除なども効果があり現在３２組の方が夫婦で入会しています。

【プラチナ会員】　（単位：人）

年齢層／性別	６０歳～６９歳	７０歳～７９歳	８０歳以上	合　計
男　性	0	5	3	8
女　性	3	１３	3	１９
合　計	3	１８	6	２７

②　就業機会の確保・拡大

ア）ハローワークが主催する「シニア世代就職支援セミナー」への参加と合わせ、日頃からハローワークとの連携を図りながらシニア世代に向けてセンターの就業情報の提供に努めました。

イ）朝来市をはじめ、これまで依頼のあった企業などを中心に業務担当者が 訪問し、体力面や技術面、また就業条件的に難しい就業先については撤退の判断をしました。また、会員が希望する仕事についてアンケート調査を実施して今後の就業拡大に繋げられるよう取り組みました。

（３）魅力あるセンターづくりのための組織運営

①　ミスマッチにより就業機会の少ない会員に対し、出来るだけ希望に添った就業紹介を進めるとともに、希望職種の転換を勧め新たな就業に繋がるよう努めました。

②　会員講師によるスマホ・パソコン教室を２月、３月に試験的に開催し、講師を務めた会員にとっては技術を活かした活躍の機会となりました。

【パソコン・スマホ教室参加者】　（単位：人）

月	パソコン	スマホ	合　計
２月	１２	１３	２５
３月	４	７	１１

④　多くの会員にとって、センター入会の主な目的が就業機会であり請負・委任、派遣で、それぞれの年齢層の会員が活躍しています。

派遣就業は７５歳以下の比較的若い会員の活躍が目立ちますが、請負・委任については年齢層に関係なく就業しています。

【年齢別就業状況】

年齢層／会員数等	60歳~64歳	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	８０歳以上	合 計
会員数（人）	４３	１２４	２４０	９８	３８	５４３
請負・委任就業（%）	６７	７７	８０	７１	５８	７１
派遣就業（%）	４４	３４	２０	１２	５	２３

⑤　地域懇談会に代わる「会員の集い」では、兵庫県立但馬長寿の郷の理学療法士小森昌彦氏の講演「いつまでも役割のある人生のすすめ！」を、会員約３００人が受講して、現役を退いた後の社会参加やシルバー人材センターの目的などについて考える機会となりました。

会場では、多くの会員がコロナ感染防止に携わるボランティアスタッフとして、受付や誘導などを担当し、その様子がケーブルテレビで放送されました。

（４）組織の活性化

①　継続就業先別、草刈、草引き、墓地清掃ほか職群班の充実に努め、会員が世話役や班長として活躍した年となりました。

②　事務局と役員の連携強化を図るため、毎月の事務局会議に正副理事長ならびに他の理事が参加し、情報の共有を図りました。

（５）普及啓発の推進

①　広報誌「シルバーあさご」は、会員の活躍の様子を多く取り上げるとともに、シニア世代への提言「シニア世代人生１００年時代を目指して！」をシリーズ化してセンター事業の周知に努めました。

②　毎月発行の事務局だよりの掲載内容の充実を図り、就業情報だけでなく多

くの情報を全会員にお知らせしました。

（６）各種講習会の開催

①　技術習得と人材育成のため、外部講師によるチェンソー安全講習会と剪定講習会を開催しました。

②　フレイル予防をテーマとした健康づくり講習会を、外部講師を招き実施したところ１５名の会員が受講し、その内の８名が男性会員でした。

③　朝来市介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）に携わる会員養成のための講習会を開催しました。

（７）労働者派遣事業

学校用務、工場、スーパー他、請負からの移行を含め労働者派遣事業の実績は、前年度対比約３２％増の６６，６４３千円となりました。

（８）有料職業紹介事業

高年齢者の就業に適した、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、有料職業紹介事業の出来る体制は整えましたが実績はありません。

２．法人事業

（１）定時総会を５月２９日に開催し、平成３１年度収支計算書類の承認、特別会員、理事の選任、理事長に対する権限委任について、それぞれ承認を受けました。

（２）地域の経済団体との連携を図るため商工会に加入しました。

（３）総務部会を９回、理事会を８回開催しました。（内容については資料参照）

（４）理事長ならびに副理事長、常務理事の業務執行状況については９月１８日第３回、令和３年３月１９日第８回、それぞれの理事会において報告しました。

３．共益事業

（１）夜久野の玄武岩公園を目指すウオーキング大会は、６５人の参加者が紅葉とのどかな高原の景色を楽しみ、昼食時は篠笛の演奏やじゃんけん大会で楽しい交流の時間を過ごしました。

（２）長引くコロナに負けないぞ！「シルバーに春が来る～！」と銘打った企画では、会員が手作りした桜のパネルの前で参加者５３人がミニコンサートとゲームを楽しみました。